

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県 袖ヶ浦市

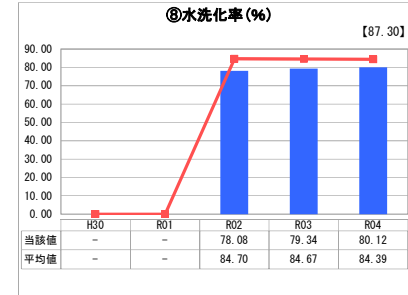
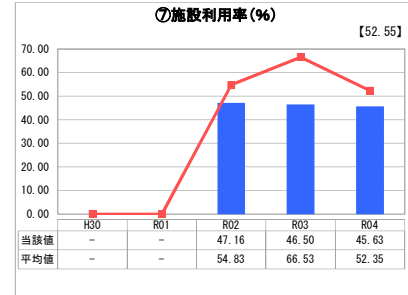
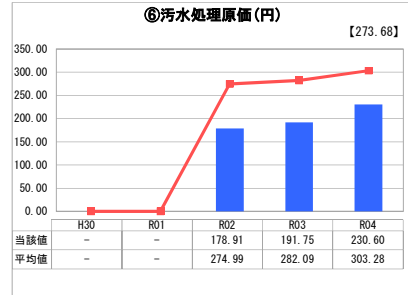
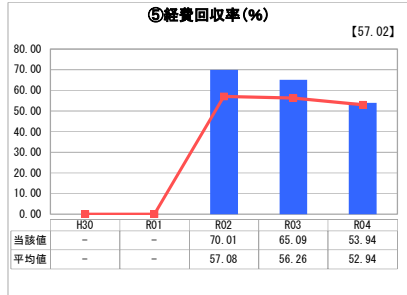
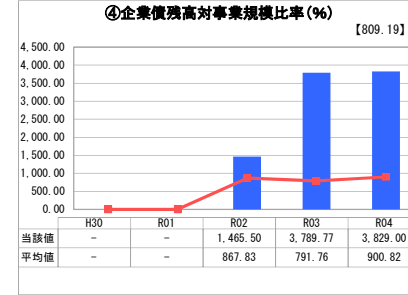
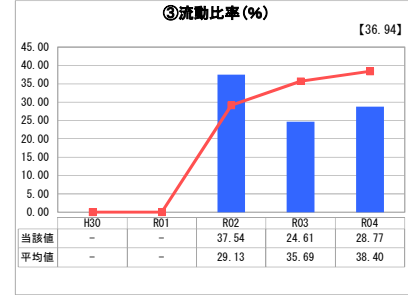
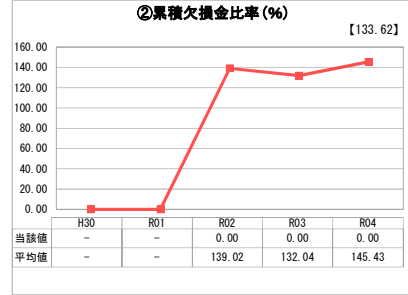
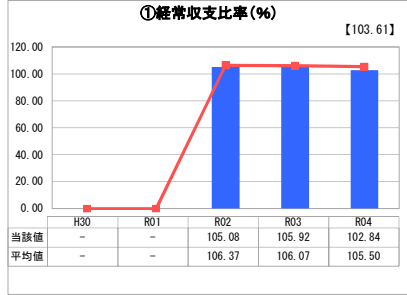
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	72.05	6.16	113.76	2,344

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
65,659	94.92	691.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,055	1.98	2,047.98

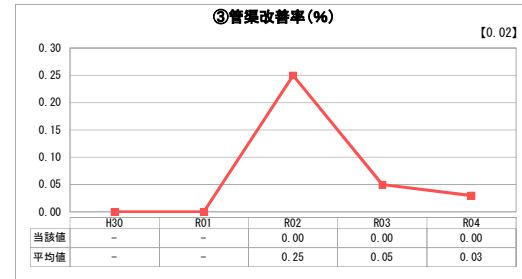
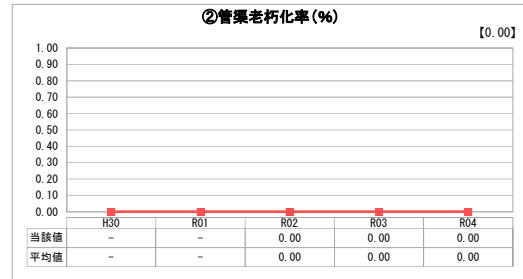
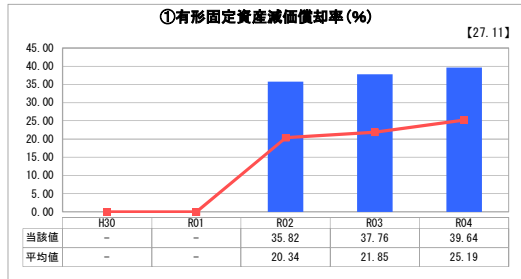
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率、⑤経費回収率、⑥汚水処理原価  
経常収支比率は100%を上回っているものの、経費回収率は100%を下回っており、一般会計繰入金等で収入不足分を賄っている状況である。汚水処理原価は、燃料費高騰等の影響により増加傾向であり、今後も老朽化の影響により増加が見込まれる。以上のことから、今後も費用の削減、使用料の確保が必要となる。
- ②累積欠損金  
累積欠損金は発生していない。
- ③流動比率  
流動比率は、類似団体平均を下回っており、資金繰りは厳しい状況である。資金不足については一般会計からの基準外繰入金にて対応せざるを得ない状況である。
- ④企業債残高対事業規模比率  
企業債残高対事業規模比率は、営業収益の減少に伴い、やや増加した。今後も同様の数値で推移、または、起債の償還に伴い緩やかに減少していく見込みである。
- ⑦施設利用率  
施設利用率は高齢化による処理区域内人口の減少に伴い、施設利用率の向上が見込めないことから、施設の耐用年数を踏まえ、適正な処理場規模を維持する必要がある。
- ⑧水洗化率  
水洗化率は全国平均及び類似団体平均を下回っている。今後も継続して接続数を増やす取組みが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均を上回っているが、耐用年数を超える資産はない。令和2年度において、農業集落排水事業のストックマネジメント計画である最適整備構想を策定したため、処理場及び管渠について計画的な整備を図っていく。
- ②管渠老朽化率  
法定耐用年数を経過した管渠延長はない。
- ③管渠改善率  
改善（更新・改良・修繕）管渠延長はない。

## 全体総括

農業集落排水の性質上、経費回収率が低く、汚水処理原価が高くなっており、一般会計繰入金に依存しているため、料金改定を早急に行い、適正な料金収入を確保する必要があると考える。  
高齢化による処理区域内人口も減少がみられる中で接続率を上昇させ、施設使用料金収入を確保する努力も必要である。  
今後は、適正な料金設定と、経費抑制に努め、経営の健全化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。